

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	T-PLUS日本橋小伝馬町	階数	地上9F
建設地	東京都中央区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	232 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2022年4月1日
敷地面積	420 m <sup>2</sup>	作成者	平賀 一浩
建築面積	323 m <sup>2</sup>	確認日	2022年4月16日
延床面積	2,777 m <sup>2</sup>	確認者	高橋 浩



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 88% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.4

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> [騒音レベル] ≤ 40。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	<b>Q2 サービス性能</b> インテリアパースによる内装計画の事前検証を実施している。 床荷重: 4900N/m <sup>2</sup>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 植栽により、良好な景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.87。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が88%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される